

# 水分・塩分補給だけでは解決できない熱中症の問題



過酷な暑熱環境下での  
活動が避けられない人達

**熱放散能力↓**  
・汗が蒸発しない  
(無効発汗量の増加)

≡  
熱中症  
ハイリスクグループ



熱中症弱者

**体温調節機能↓**  
・汗をかけない  
・熱を逃がせない

深部から体を冷やす解決策が必要

# 熱中症対策への新たな期待



氷よりも流動性がある



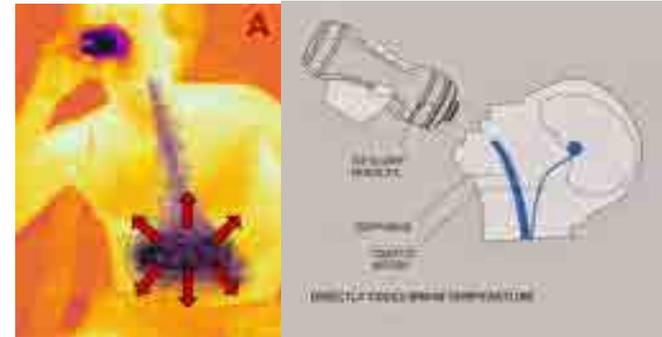
水よりも冷却能力がある



通常の氷

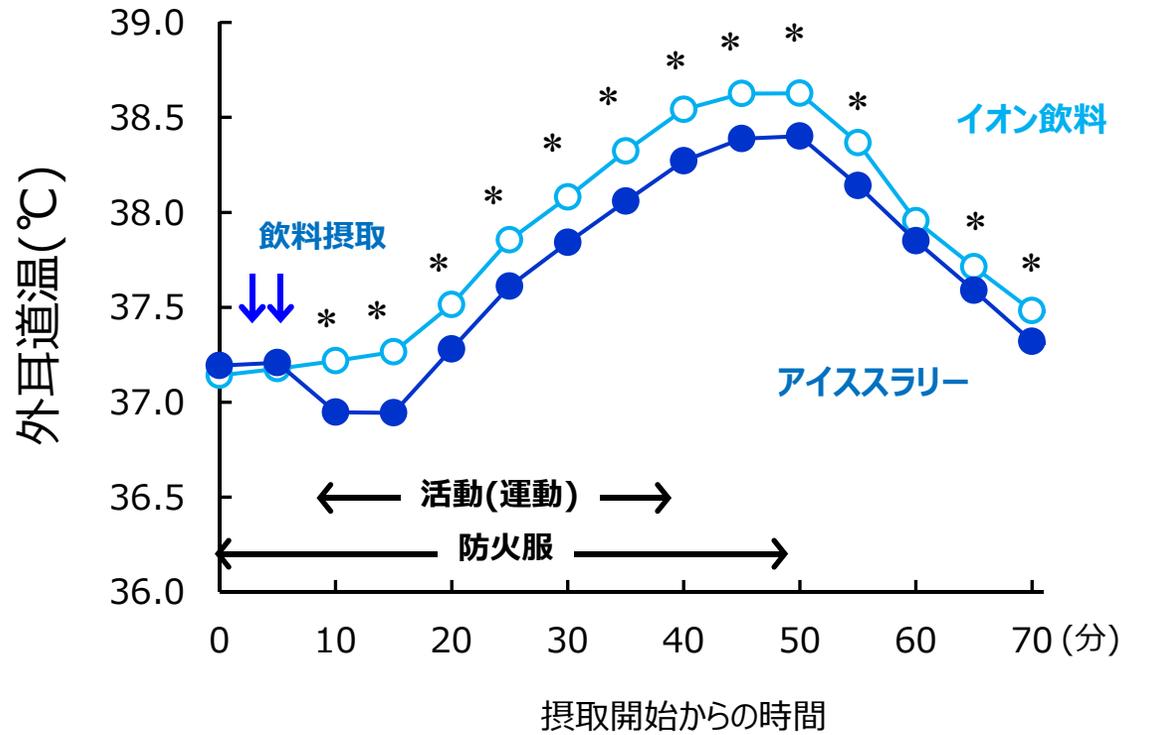


アイススラリー



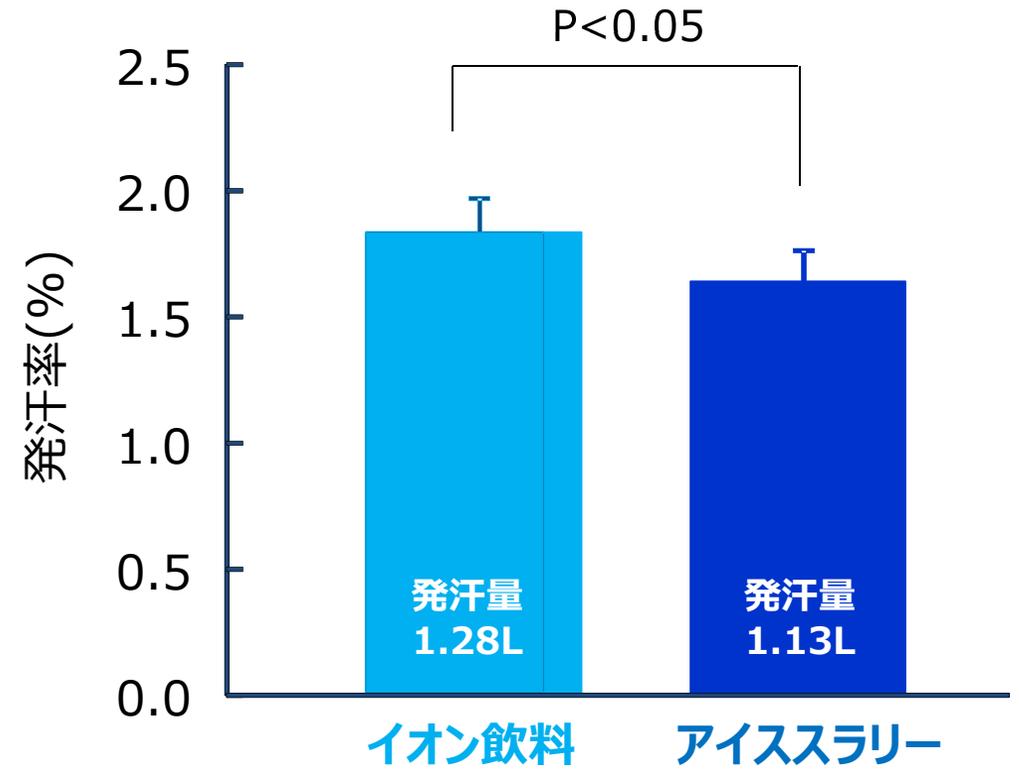
# 熱中症対策におけるアイススラリーの有用性

## 活動時の深部体温上昇抑制



N=12 Mean±SE  
\*P<0.05

## 脱水の抑制



N=12 Mean±SE

# 各業界での熱中症対策の取り組み事例



## 産業



## エンタメ



## スポーツ

仕事開始直後から昼休み前までの  
時間で発症が多い  
(全体の70%)

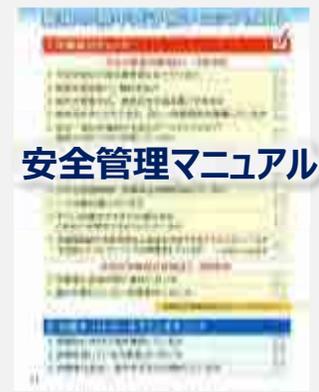
エンターテイナー（ダンサー・着ぐるみ）  
の深部体温が30分で1℃上昇  
(屋外・WBGT28℃環境下)

高校野球  
2023年夏大会から熱中症対策として  
5回にクーリングタイムが導入決定

厚労省の通達



使用のルール化による  
ポカリスエットアイススラリーの導入



安全管理マニュアル



科学的エビデンス・採用事例集  
⇒産業医×大塚製薬による活用検討

パレード30分前  
ポカリスエットアイススラリーの導入



甲子園メディカルチーム・高野連医科学委員会  
×  
大塚製薬  
科学的エビデンスを議論

甲子園大会  
5回終了後のクーリングタイムに  
ポカリスエットアイススラリー導入が決定



# 熱中症対策アンバサダー講座

2023年7月1日開始

主催：大塚製薬株式会社

後援：環境省

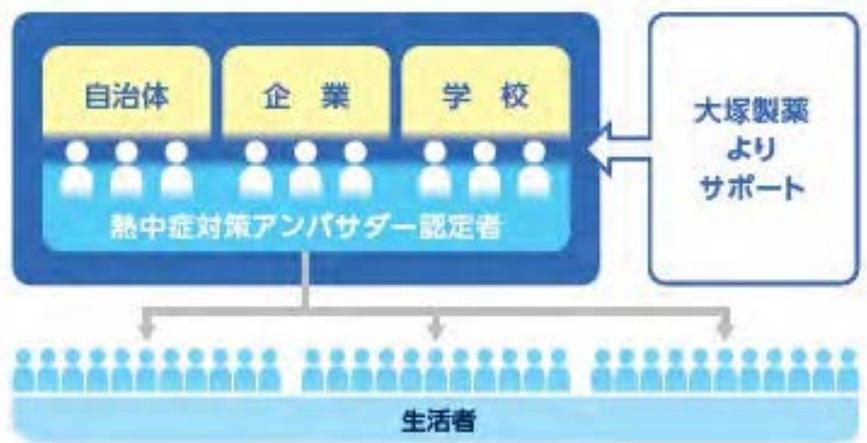
## 実施概要

- 受講資格：どなたでも受講いただけます
- 受講料：無料（有効期限なし※）
- 開講期間：2023年7月～2023年12月

## 講義内容詳細

	講義Ⅰ	講義Ⅱ	トピックス
	熱中症「0(ゼロ)」を目指して 資料監修：中京大学 教授 松本孝朗先生		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 熱中症について知る 熱中症はどのように起こるか 外的要因 カラダのメカニズム 体温調節 熱中症と思われた時の処置 熱中症対策の歩み・熱中症の現状</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 熱中症対策 年代別・環境別の熱中症予防 日常生活での対策 (水分補給のタイミング)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「気象予報士と学ぶ！熱中症対策動画」 制作：NPO法人気象キャスターネットワーク 協力：大塚製薬 (8分40秒)</li> </ul> <p>※確認テストの範囲には含まれません</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「熱中症保健マニュアル2022（環境省）」</li> <li>・「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック（日本スポーツ協会）」 の内容に準拠しています</li> </ul>		

### 熱中症対策アンバサダーの活動イメージ



「集合研修」

「オンデマンド」

「LIVE配信」

の3パターンをご用意

